# 優良事例の紹介(サーキュラーエコノミー実践例)

## ショッピングセンター・ホテル・産業処理会社が繋ぐ循環の輪

#### 処理費用の削減は分別の徹底から ~S-PAL 仙台の取組事例~



#### きっかけ

仙台ターミナルビル株式会社は、JR仙台駅に隣接するショッピング センター「S-PAL 仙台」を運営する会社です。同ショッピングセンター には現在約300の企業がテナントとして入居しており、現在の一日に 排出されるゴミの総量は約2.5 t となっています。以前は、分別ルール はあるものの、分別を徹底できておらず、一つの袋に様々な種類のゴ ミが混在した状態で廃棄していた為、処理コストがかさむことが課題 となっていました。

▲S-PAL 仙台施設外観

#### 取組内容

そこで、ゴミ処理コストの圧縮を図るため、当館の廃棄物管理業 務を担っている(株) SKトレーディングに相談し、まずは分別マニ ュアルを作成し、分別の徹底を図ることから始めました。

分別するゴミの種類が増えることから、当取組を説明するため全 テナント様を回った際には、業務への負担を心配する声もありまし たが、近年、環境配慮の取組への関心が高まっていることもあり、 最終的には全てのテナント様に賛同して頂き、現在では館内一丸と なって当取組を実施しております。



▲分別の様子(軟質プラスチック)

### 成果や反響



多様なゴミが混在した状態で廃棄していたものを細かく分別することで、食 品残渣は従来よりも安価にメタンガス化施設へ排出できるようになり、再生可 能エネルギーとして利用され、更に処理費用を抑えることもできました。ま た、製品の容器や梱包などのリサイクル可能な軟質プラスチックについては、 他の廃プラスチック類と分けて回収することで、「館内指定ごみ袋」として生 まれ変わり、再び当館で使用する循環の輪ができました。

他にも、館内指定ゴミ袋はテナント様へ有料で販売していることもあり、 「どうやったら廃棄物の量を減らせるか?」との声も多く寄せられ、ゴミの問 題を自分事として捉えて頂けるようになったことも大きな成果だったと感じて います。

この取組は S-PAL 仙台に留まらず、隣県の福島県や山形県の S-PAL でも実施 ▲館内指定ごみ袋として再利用 することとなり、仙台発で当取組が広がっていることについて大変誇らしく思 います。

#### 今後の展望

現在は、館内で使用しているプラスチック製の消耗備品を、環境に配慮した素材へ代替するため、検討を重 ねております。また、「館内指定ごみ袋」や「トイレットペーパー」以外にもリサイクルできる品目を増や し、排出されるゴミの循環利用率を高めたいと考えております。

所在地	仙台市青葉区中央一丁目1番1号
運営主体	仙台ターミナルビル株式会社
担当部署	ショッピングセンター事業本部
連絡先	022-267-2580

#### 資源循環と良質なサービスの両立 ~ホテルメトロポリタン仙台の取組事例~

#### 分別への参加

運営主体が S-PAL 仙台と同じであることから、当ホテル でも分別の取組に参加することとなりました。

ホテル事業から排出される廃棄物の特徴として、レスト ランや宴会場では、食品残渣や割り箸、プラスチック製の 容器包装等の多様なゴミが一斉に排出され、これらを短時 間で処理する必要があることが挙げられます。このため、 当初はゴミの分別作業を負担に感じることもありました が、そのうち分別が当たり前となり、今では魚のアラや貝 殻に至るまで細かく分別を行っております。

これにより、当ホテルの軟質プラスチックゴミも S-PAL 仙 台の「館内指定ごみ袋」として循環利用されるとともに、処理費用の圧縮等の効果が得られています。



▲ホテルメトロポリタン仙台施設外観

## その他の取組



ク排出量削減のため、客室のアメニティやカトラリーについて、 脱プラスチック素材への変更を行いました。

2022年4月に施行されたプラ新法\*1に関連して、プラスチッ

他にも、当ホテルで年末に販売を行っている「おせち」の容器を 昨年より、プラスチックから紙製のものに変えております。初めて の試みでしたが、機能性はもちろんの事、見た目の高級感にもこだ わり、幸いにもお客様からは容器に関するご意見等はありません でした。

▲おせちの容器を紙製のものに変更

また、新たなサービスの提供を考える際には、廃棄物をあらかじめ 出さないようなサービスを設計することも重要であると考えておりま

例えば、近年のテイクアウト需要の高まりから、当ホテルでも こ のサービスの検討を行った結果、カトラリーは木製を使用することと しました。加えて、SDG s の新たな取組としてマイボトル持参の方に 限定したドリンク提供のサービス、「マイボトルドリンクテイクアウ ト」をスタートさせ、ご好評をいただいております。

#### 今後の展望

世界的な潮流の中では、環境に配慮した取組を求められております が、お客様へ提供するサービスへは一切妥協はできないと考えており ます。今後も、どちらも両立できるような、付加価値の高いサービス を提供していけるよう、努めて参ります。

※1 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

所在地	仙台市青葉区中央一丁目1番1号
運営主体	仙台ターミナルビル株式会社
担当部署	ホテル事業本部
連絡先	022-267-2182



https://sendai.metropolitan.jp/restauran list/serenity/menu/drinktakeout.html



▲マイボトル限定のテイクアウトサービス